

第6回清水庁舎整備検討委員会（書面開催）の各委員からのご意見

分類	意見の概要	備考
今後の議論について	<ul style="list-style-type: none"> □ 今回いただいた意見や要望について、導入機能の議論の基礎となっていくが、庁舎整備の枠だけではなく、全庁で横断的に取り組む必要がある。(牛場委員) □ 改修時にできない所を整理して、具体的に考えていくのではよいのではないか(田宮委員、黒瀬委員) □ 今後改修内容について議論するにあたっては、現庁舎の各階、各部門の面積や、仮に19,700㎡に現庁舎の機能を入れる場合どのようになるのか等が見えたうえで、検討した方がよい(恒川委員長) □ 第3次診断を経て合理的な改修を実施するという中で、第3次診断の影響を受ける部分、受けない部分を分けて議論するのがよいのではないか(堀川委員) □ DX化やフロア構成、窓口をはじめとする行政サービスについて市がどのように考えているかを聞いたうえで議論していきたい(堀川委員) 	
まちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> □ いただいた意見にもあったが、清水庁舎は江尻と日の出の間に位置している。周囲には空きストックもあるため、一体として整備できればよりよくなるのではないか(石垣委員) □ 清水庁舎周辺には静岡庁舎周辺と比べてコワーキングスペース等が少ないと感じる。そのため、庁舎の一部スペースは市民利用を念頭に有効活用してもらいたい(伊東委員) 	
床面積について	<ul style="list-style-type: none"> □ カフェや災害対応、市民交流スペース等への要望が寄せられているが、積み上げ式の算出ではその面積を生み出すのはなかなか難しい。そこで全体の面積のなかであらかじめ執務用の面積と市民向けスペースの面積の枠を定めておくのも1つの方法だと思う。(牛場委員) 	
機能とコストについて	<ul style="list-style-type: none"> □ 求める機能や要望を見て、コストと整備する機能のバランスが難しい(石垣委員) □ まちづくり関連の機能については、やろうと思えば実現はできるが、どこまでコストをかけるのが妥当なのか、という部分がバランス感覚として難しい(黒瀬委員) □ いろいろな機能を求めるのであれば、改修より新築の方が実現しやすい。また、様々な新たな機能を実現した改修は、新築よりもコスト的に優位であるとは言えないため、注意が必要(加藤委員) 	
パブコメ意見について	<ul style="list-style-type: none"> □ 今回いただいた意見は、学生が突出しているが、若者の意見を聞く機会があったことは良かったと思う。意見者の属性はあまり気にする必要はないと思う(小豆川委員) □ 求める機能や要望についての意見は、今後の整備において大事にしたほうがよい(関委員、黒瀬委員) 	